

facebook

メールアドレスまたは携帯番号 パスワード

ログイン

アカウントを忘れた場合



聖心女子大学  
「聖心歳時記」

@SeishinDiary

ホーム



聖心女子大学「聖心歳時記」

作成者: goukaku@u-sacred-heart.ac.jp [?]

「いいね！」済み・9月3日・編集済み



シリーズ学生記者が行く  
一広尾Walking 2016—  
聖心女子大学がある広尾では毎月9月の中旬（今年は9月10日(土)、11日(日)）に広尾・氷川例大祭が盛大に行われている。この祭りの顔とも言える大神輿は翌年にご成婚された皇太子裕仁親王と久邇宮良子王女を祝して大正12年に作られた。町の担ぎ手たちがその大神輿を久邇宮邸に渡御(とぎょ・担いでいくこと)したと聞いた。現

在の聖心女子大学の場所が元久邇宮家の敷地だからこその地元のお祭りだ。

以来、世代を超えて地元の絆を結ぶ象徴として93年もの間、大切に受け継がれている広尾の宝。そんな広尾、自慢の神輿は4年前に神輿師に修理が依頼され、大修復が施された。木地師、掘り師、彫金師、鋳物師など10種類以上の職人の手により、新調時の気品と美を取り戻した。深い輝きをもつ金梨地(きんなしじ)と呼ばれる漆も下地から塗り直し、彫刻に金箔も押し当てた。てっぺんには力強く翼を広げ、ずっしりと構える鳳凰の勇ましい姿がある。どの角度から見ても美しい。まさに伝統工芸の粋を集約した芸術品だ。

関東大震災、東京大空襲といくつもの危機を奇跡的に焼け残りその豪華絢爛な姿で今年の祭りも盛り上げる。神輿とは神様が乗る輿(こし)、いわゆる神社である。その神社を守る狛犬達やおめでたい鶴と亀はいったい大神輿のどこにいるのか？

9月の例大祭ではじっくりと眺めて探してみてください。

典拠『HIROOwalk vol.5』より

SRS(聖心 Radio Station)部員 鈴木麻衣(1年)